089379−001−4

特44−122

釈迦八相倭文庫　初編上下，2編下

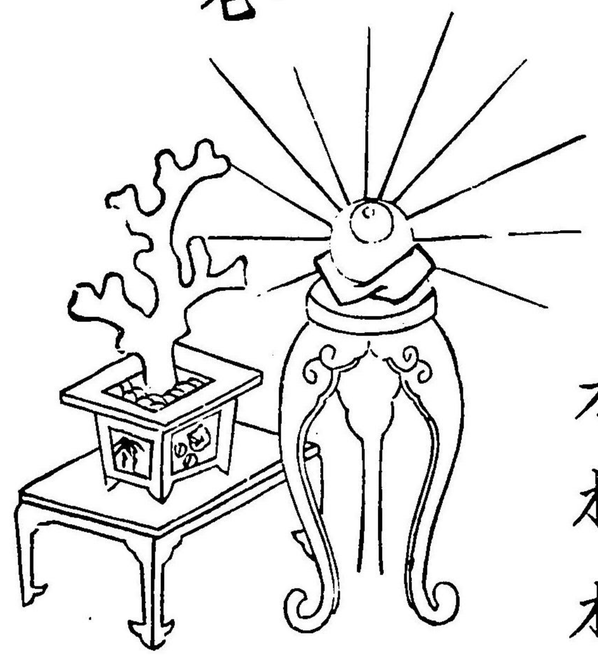
一陽斎　豊国／画

M15

DBM−0879

釋迦八相倭文庫

初編上之巻



木村梓

古し文

万亭應賀著

一陽齋豊國画

叙

大集経末来記に曰如く白法隠没と説きて
こゝ今その時に合せ見るに不思議なるこゝ此意
不違四民の心顛倒して武家の番太に番太の
二十年亭主を嫌ふ女房あり手を十八策ゆて
戯作にこゝろざせど元より師匠を取ることせ
ざと書き一點も続くことを沿ぶ方便
八十餘年の元祖もこのれバさらに釋迦八相の物
語りを扨よ和えて是を著す

天保十六年　二十五歳の戯作
乙巳の孟陽　二十年番の内　万亭應賀述

中天竺迦毘羅城
三十七代
浄飯大王
善覚大臣の姉娘
摩耶夫人

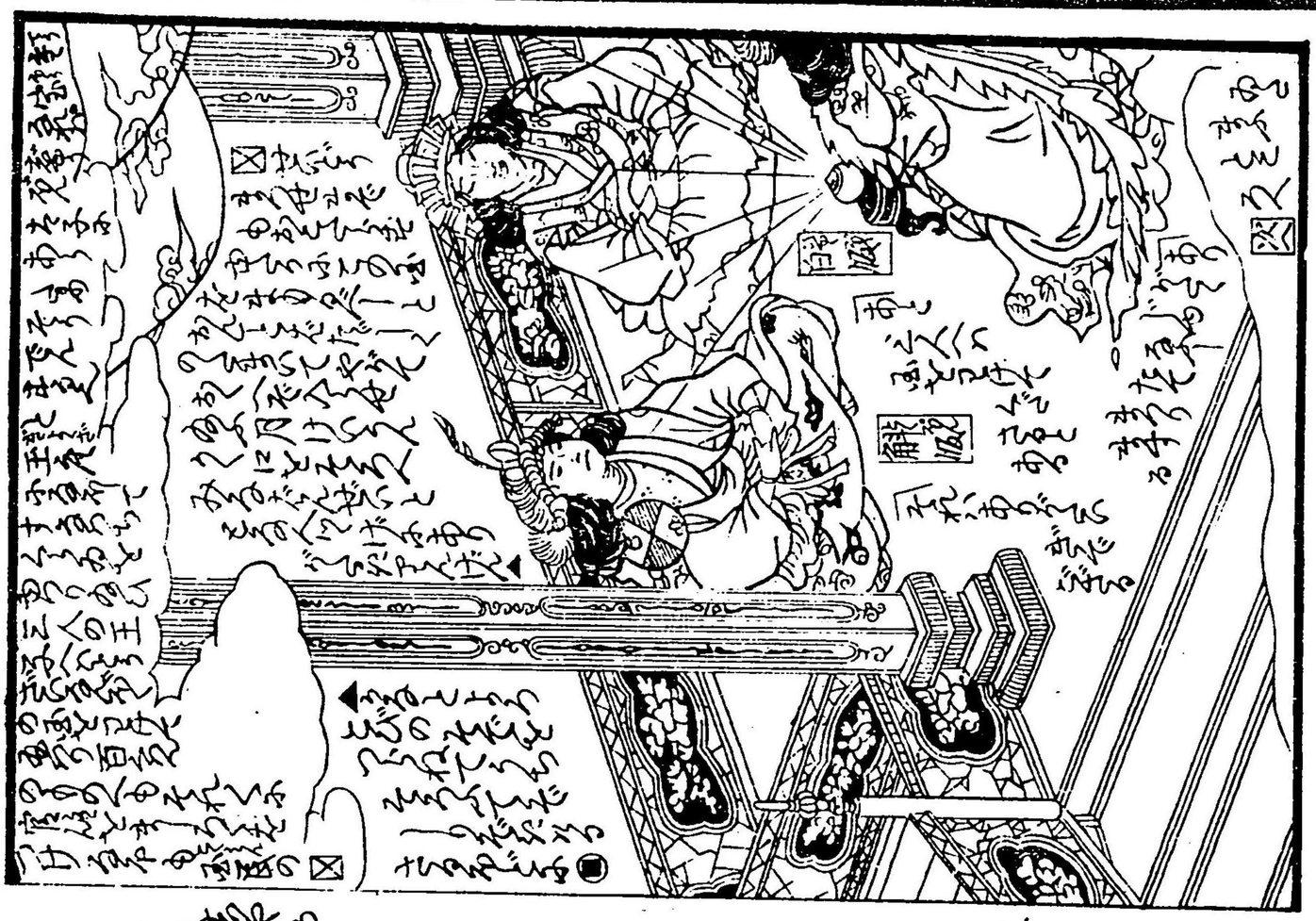
善覚大臣の姉娘
摩雲弥

浄飯王の忠臣
優陀夷
悉達太子と奉守

優陀夷
女房

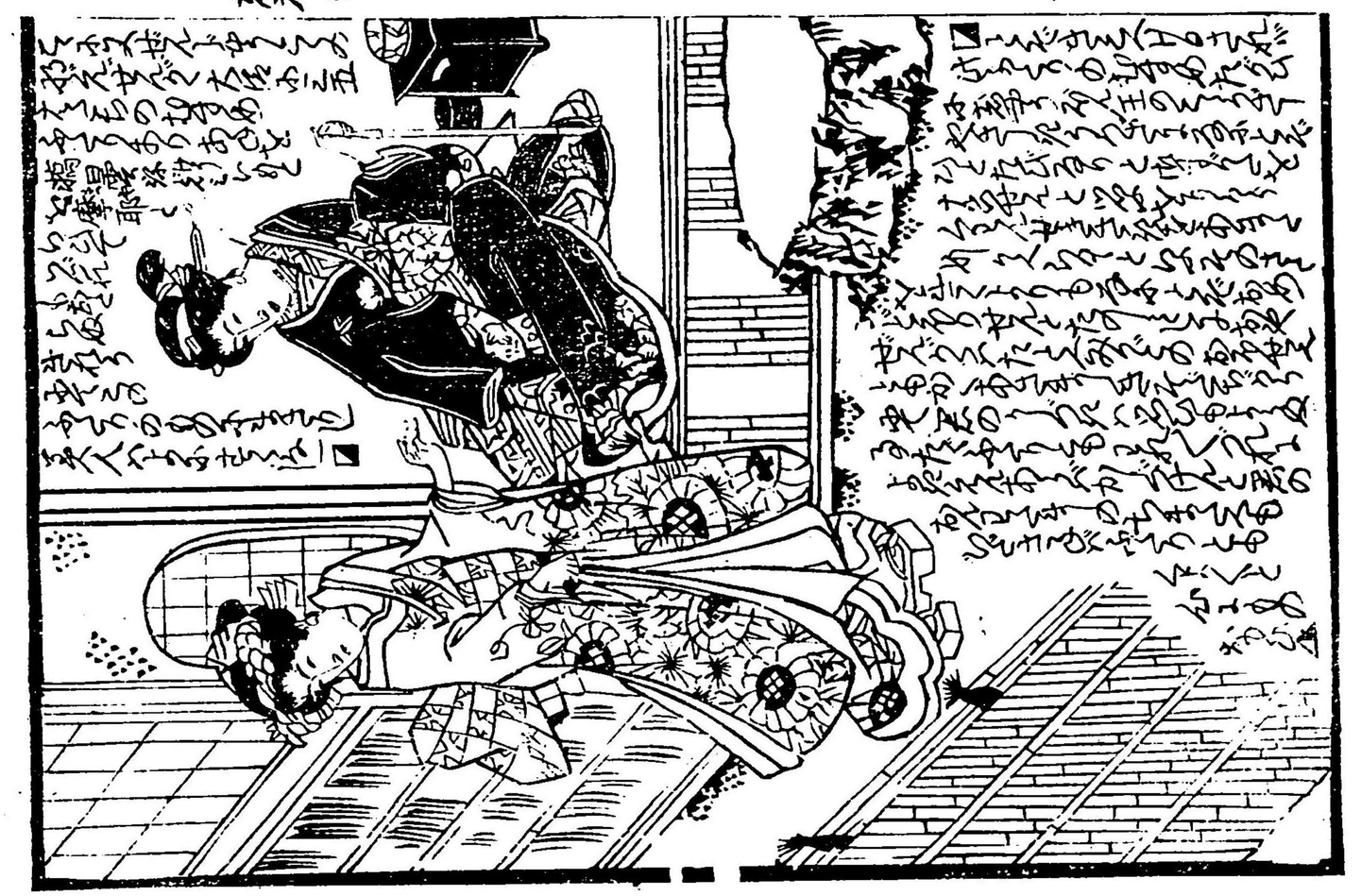
迦毘羅城
夕陽山
切陀羅仙

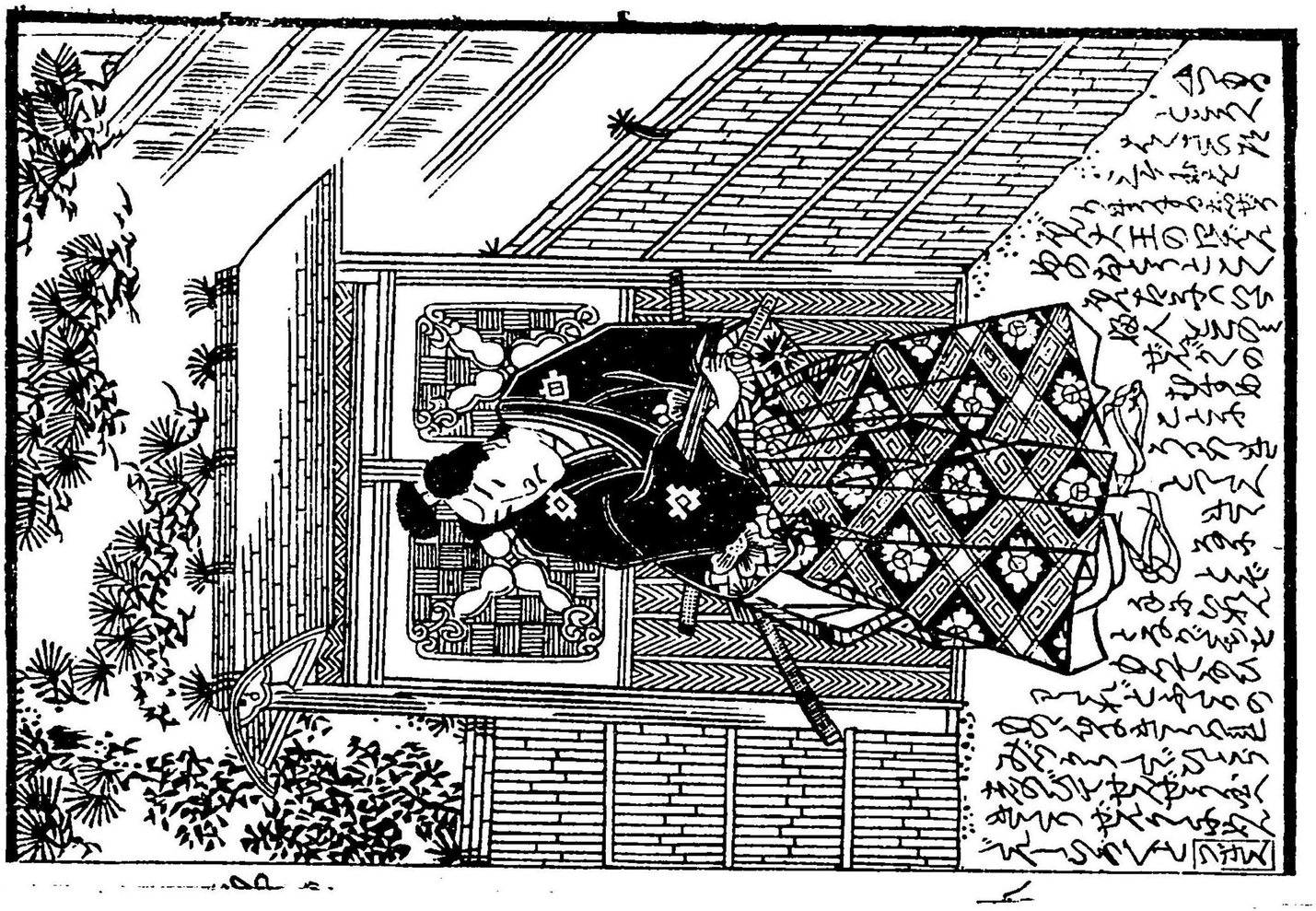
師子頬王



▲あつかの作色の美彩板
。大閤拵二人六冊
。縁組大
後勝四冊
。孤獨赤
旅岩稲
荷四冊
。大国
初愛紙
四冊
。濱松七本松
中本三冊
。義石山浮世
精美四冊
たく外
色く教
付
四

◁もろの
本屋さま
うくひとくこ
だんの
寺弟
七





大坂大字五行義右夫本

繪入義右夫本

浄瑠理都ど逸

浄瑠理文句入選とぐるり

えらみ端唄都とゐ津

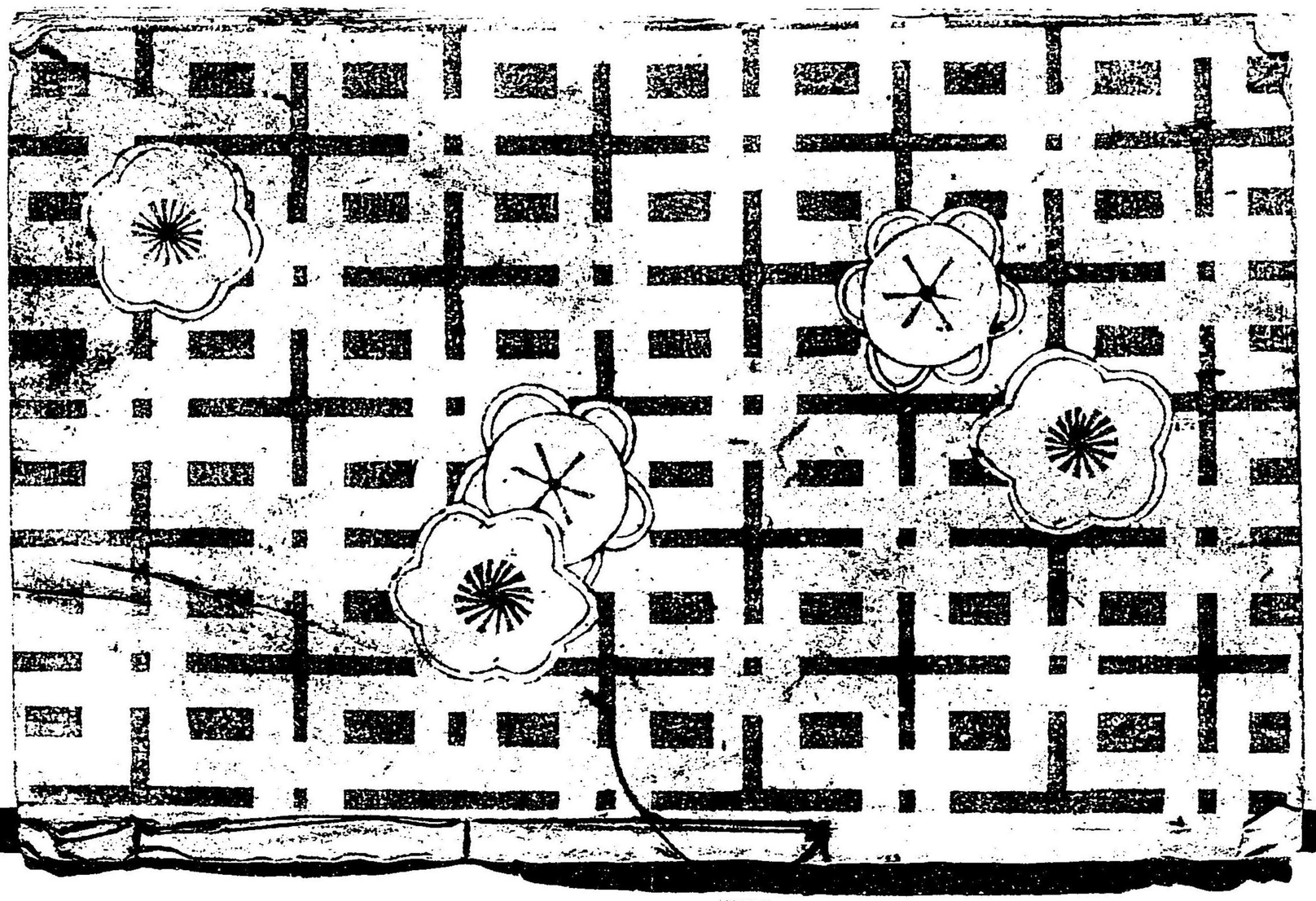
浄瑠理大全

俳優都と以津

常磐津稽古本

釋迦八相倭文庫

傳紫田舍源氏

万亭應賀作　右亭柳亭種彦作

右ハ専ら世ニ行はれ候ハ慥しかるべく候ハ、這回飜刻いたし板元ハ仕主・初編より迄ハ歩行先生伝記の稽古の稽古を彫り